

令和8年度

事業計画書

特定非営利活動法人化粧品・日用品微生物センター

1 事業実施の方針

令和8年度は当法人の設立年度として、定款に定める2つの事業の柱に基づき、活動の基盤を構築します。第一に、「化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業」として、主に一般消費者を対象に、製品の安全な使用方法に関する知識を普及させます。第二に、「消費者保護を目的とした化粧品・日用品の微生物学的品質向上支援事業」を展開します。本事業は、化粧品・日用品関連の事業者を直接の支援対象としますが、これは特定の業界の利益（共益）を目的とするものではありません。事業者の品質管理技術を底上げすることで、市場に流通する製品全体の安全性を高め、製品を使用する不特定多数の一般消費者を微生物による健康被害から守ること（公益）を最終目標としています。これらの活動を通じて、当法人の社会的意義と専門性を広く周知し、安全な社会の実現を目指します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 436.5 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業	法人ホームページにて、一般消費者に向けて微生物管理の専門的知見に基づいた化粧品等の安全な使用・保管方法に関する情報を発信し、市民の衛生意識の向上を図る。	随時	法人事務所	1人	一般市民、消費者	不特定多数	15
	NPO 法人カビ相談センター（食品や環境を劣化させるカビを対象）の「生活とカビに関する講演会」にて当法人（化粧品・日用品を劣化させるカビを含む広範な微生物を対象）から化粧品・日用品の微生物管理に関する講演を実施し、その内容の概要を法人ホームページにて広く発信することで衛生啓発および安全な製品使用の普及に寄与する。	6月	東京都大田区公共施設	1人	一般市民、製品の衛生に関心のある方	80人	22
	日本防菌防黴学会で「化粧品回収事例の微生物汚染解析」を報告し、参加者間の意見交換を行う。報告内容の概要を法人HPで公開することにより一	9月	東京都品川区公共施設	2人	学会参加者、研究者、関連事業者	300人	30

	<p>般市民の衛生啓発に役立てる。同時に解析結果を技術資料として法人ホームページを通じて業界へ提供し、中小事業者の安全管理体制の底上げと製品事故の未然防止に寄与する。</p>						
	<p>NPO 法人カビ相談センター（食品や環境を劣化させるカビを対象）の「生活とカビに関する講演会」にて当法人（化粧品・日用品を劣化させるカビを含む広範な微生物を対象）から化粧品・日用品の微生物管理に関する講演を実施し、その内容の概要を法人ホームページにて広く発信することで衛生啓発および安全な製品使用の普及に寄与する。</p>	10 月	大阪府 大阪市 大学	2 人	一般市民、 製品の衛生 に関心のある方	50 人	22
消費者保護を 目的とした化粧品・日用品 の微生物学的 品質向上支援 事業	<p>化粧品・日用品事業者の知識向上や技術習得を目的とした、化粧品・日用品の品質確保のための微生物管理セミナーを開催し、その概要を法人ホームページにて発信することで、業界全体の品質管理水準の向上を図る。</p>	第二四半 期	東京都 北区 公共施設	3 人	化粧品・日用品の製造・販売等に携わる事業者。HP等で広く公募し、特定の事業者に限定しない。一般会員も参加の対象とする。	40 人	220
	<p>化粧品・日用品事業者の知識や技術の習得を目的とした微生物管理方法（製品の微生物試験方法など）に関する個別相談会を正会員、一般会員、非会員に対して実施し、業界全体の品質管理水準の向上を図る。</p>	随時	相談者事業所	4 人	微生物管理に課題を抱える化粧品・日用品関連事業者。一般会員も参加の対象とする。	5 人	127.5

令和9年度

事業計画書

特定非営利活動法人化粧品・日用品微生物センター

1 事業実施の方針

令和9年度においては、初年度に築いた活動基盤を基に、各事業の深化と定着を図ります。「化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業」では、継続的な情報発信と講演活動により、一般消費者の製品安全に関するリテラシー向上を目指します。「消費者保護を目的とした化粧品・日用品の微生物学的品質向上支援事業」では、事業者への支援が最終的に消費者保護につながるという公益目的に基づき、基礎的な内容に加え、より専門的なセミナーや実技講習会を展開します。これにより、国内事業者の品質管理レベルの底上げを促し、市場全体の製品安全性を高めることで、消費者保護を一層推進します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 752.5 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業	法人ホームページにて、一般消費者に向けて微生物管理の専門的知見に基づいた化粧品等の安全な使用・保管方法に関する情報を継続発信し、市民の衛生意識の向上を図る。	随時	法人事務所	1人	一般市民、消費者	不特定多数	15
	NPO 法人カビ相談センター（食品や環境を劣化させるカビを対象）の「生活とカビに関する講演会」にて当法人（化粧品・日用品を劣化させるカビを含む広範な微生物を対象）から化粧品・日用品の微生物管理に関する講演を実施し、その内容の概要を法人ホームページにて広く発信することで衛生啓発および安全な製品使用の普及に寄与する。	6月	東京都大田区	1人	一般市民、製品の衛生に関心のある方	80	22
	日本防菌防黴学会で「活動内容と消費者啓発の成果」を報告し、参加者間の意見交換を行う。報告内容の概要を法人HPで公	9月	大阪府千里市	2人	学会参加者、研究者、関連事業者等	300	124

	開することにより一般市民の衛生啓発に役立つ。						
	NPO 法人カビ相談センター（食品や環境を劣化させるカビを対象）の「生活とカビに関する講演会」にて当法人（化粧品・日用品を劣化させるカビを含む広範な微生物を対象）から化粧品・日用品の微生物管理に関する講演を実施し、その内容の概要を法人ホームページにて広く発信することで衛生啓発および安全な製品使用の普及に寄与する。	10 月	大阪府 大阪市	2 人	一般市民、製品の衛生に関心のある方	50	22
消費者保護を目的とした化粧品・日用品の微生物学的品質向上支援事業	正会員、一般会員及び非会員を対象とした化粧品・日用品の品質確保のための微生物管理セミナーを開催し、その概要を法人ホームページにて発信することで、業界全体の品質管理水準の向上を図る。	第一四半期	東京都 北区	4 人	化粧品・日用品の製造・販売等に携さわる事業者。HP 等で広く公募し、特定の事業者限定しない。	40 人	220
	化粧品・日用品事業者の知識向上や技術習得を目的とした、微生物管理に関する Web セミナーを正会員、一般会員、および非会員に対して開催する。あわせてその内容の概要を法人ホームページで発信し、広く社会の衛生啓発に寄与する。	第二四半期	法人事務所	1 人	化粧品・日用品の製造・販売等に携わる事業者	20 人	75
	化粧品・日用品の製品安全性を担保し、消費者の健康被害を未然に予防するために、事業者の知識や技術の習得を目的とした品質管理担当者向け微生物試験法実技講習会を	第三四半期	神奈川県 藤沢市	2 人	化粧品・日用品の製造・販売等に携わる事業者	5 人	147

	正会員、一般会員、非会員に対して実施する。						
	化粧品・日用品事業者の知識や技術の習得を目的とした微生物管理方法（製品の微生物試験方法など）に関する個別相談会を正会員、一般会員、非会員に対して実施し、業界全体の品質管理水準の向上を図る。	随時	相談者事業所	4人	微生物管理に課題を抱える化粧品・日用品関連事業者	5人	127.5

令和8年度 活動予算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人化粧品・日用品微生物センター

科目		金額	小計・合計
[A] 経常収益			
1	受取会費		230,000
	正会員受取入会金	50,000	
	一般会員(個人)受取入会金	50,000	
	一般会員(団体)受取入会金	10,000	
	正会員受取会費	50,000	
	一般会員(個人)受取会費	50,000	
	一般会員(団体)受取会費	20,000	
2	受取寄附金		0
	受取寄附金	0	
	施設等受入評価益	0	
3	受取助成金等		0
	受取補助金	0	
4	事業収益		380,000
	化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業収益	0	
	消費者保護を目的とした化粧品・日用品の微生物学的品質向上支援事業収益	380,000	
5	その他の収益		0
	受取利息	0	
経常収益計			610,000
[B] 経常費用			
1	事業費		0
	(1) 人件費		0
	給料手当	0	
	役員報酬	0	
	退職給付費用	0	
	福利厚生費	0	
	(2) その他経費		436,500
	会議費	0	
	旅費交通費	48,000	
	学会等参加費(事業用)	46,000	
	消耗品費	0	
	試験委託費	0	
	印刷製本費	10,000	
	業務委託費	85,000	
	通信費	15,000	
	諸謝金	92,500	
	会場費	100,000	
	雑費	40,000	
事業費計			436,500
2	管理費		0
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	退職給付費用	0	
	福利厚生費	0	
	(2) その他経費		84,100
	会議費	5,000	
	旅費交通費	20,000	
	水道光熱費	0	
	通信運搬費	10,000	
	印刷製本費	9,100	
	地代家賃	0	
	消耗品費	20,000	
	減価償却費	0	
	雑費	20,000	
管理費計			84,100
経常費用計			523,600
当期経常増減額【A】-【B】・・・①			86,400
[C] 経常外収益			
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
経常外収益計			0
[D] 経常外費用			
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③			86,400
	法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
	設立時正味財産額・・・⑤		0
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			16,400

令和9年度 活動予算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人化粧品・日用品微生物センター

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		380,000
正会員受取入会金	5,000	
一般会員(個人)受取入会金	50,000	
一般会員(団体)受取入会金	50,000	
正会員受取会費	55,000	
一般会員(個人)受取会費	100,000	
一般会員(団体)受取会費	120,000	
2 受取寄附金		0
受取寄附金	0	
施設等受入評価益	0	
3 受取助成金等		0
受取補助金	0	
4 事業収益		630,000
化粧品・日用品の衛生的使用・保管に関する支援・啓発事業収益	0	
消費者保護を目的とした化粧品・日用品の微生物学的品質向上支援事業収益	630,000	
5 その他の収益		0
受取利息	0	
経常収益計		1,010,000
【B】 経常費用		
1 事業費		0
(1) 人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		752,500
会議費	0	
旅費交通費	146,000	
学会等参加費(事業用)	46,000	
消耗品費	20,000	
試験委託費	0	
印刷製本費	10,000	
業務委託費	160,000	
通信費	15,000	
諸謝金	215,500	
会場費	100,000	
雑費	40,000	
事業費計		752,500
2 管理費		0
(1) 人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		75,000
会議費	5,000	
旅費交通費	20,000	
水道光熱費	0	
通信運搬費	10,000	
地代家賃	0	
消耗品費	20,000	
減価償却費	0	
雑費	20,000	
管理費計		75,000
経常費用計		827,500
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		182,500
【C】 経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③		182,500
法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		16,400
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		128,900